

ほけんだより 5月号

富谷市立日吉台小学校保健室

令和7年5月2日

新学期が始まって3週間が過ぎました。新しい生活に慣れてきて、体も心もほっとする一方、疲れがたまり体調をくずしやすい時期です。普段より早く寝て体を休め、バランスの良い食事とって体力回復に努めるよう、ご家庭でもお声掛けください。

保健室の使い方について



保健室では、学校で起きたけがや病気の応急手当を行います。体のことで知りたいことや、心配なことがあるときも利用できます。みんなが気持ちよく利用できるよう、お子さんと保健室の使い方をご確認ください。



*保健室では、学校でのけがの最初の手当てを行います。地域でのけがや、湿布の貼り替え、絆創膏の交換等は、ご家庭でお願いいたします。

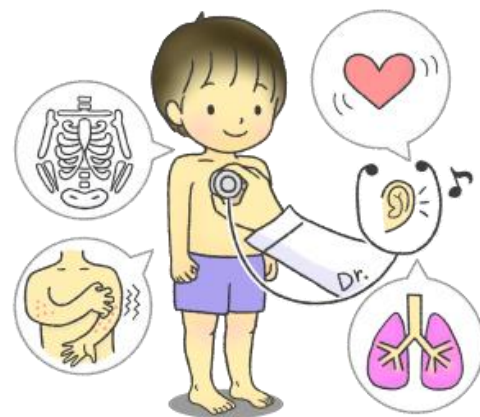
*保健室での一時休養は、原則として1時間程度です。回復しない場合や、回復が見込まれない様子のときは保護者の方へご連絡差し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

塩釜保健所黒川支所の「くろかわ感染症情報」に、百日咳の全国的な流行についてと、塩釜保健所管内でも発生しているとの情報がありました（保健所のホームページでご覧いただけます。<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-health-k/kurokawakannsenshou2023.html>）
予防にはワクチン接種、咳エチケット、手洗いが大切です。

内科検診の受け方について

学校の内科検診では、以下のような点を中心にお子さんの体の様子を診ています。

- 心臓の音を聞きます。 ○呼吸の音を聞きます。
- 顔から首、首のリンパ節や甲状腺の様子、皮膚の様子などを観察します。



- 成長曲線や肥満度を確認し、成長の様子や、身長と体重のバランスを観察します。
- 運動器問診票を確認し、肩の高さや背骨の様子、手足の動きなどを観察します。
- 結核問診票を確認し、咳や呼吸の様子を観察します。

日吉台小学校では、内科検診の際は上半身の服を脱いで検査を受けます。これは、医師に診ていただける貴重な機会を十分に活かし、できる限り正確な検査を行うためです。経験豊富な医師による診察で、普段の生活では気が付かなかった疾病が見付かることも決して少なくありません。特に、成長期にみられる背骨の疾病（側弯症等）は、早く発見し専門医の診察を受けることが大切です。

男子は、保健室内に5人程度入室し、室内で体操着の半袖を脱いで、手に持ったまま検査を受けます。1・2年生の女子も同じ方法です。3～6年生の女子は、保健室内をついたてで1人ずつのスペースに区切り、半袖の中に腕を引っ込めて待機して、医師の前に来てから服を首元まで上げます。内科校医は女性で、地元でずっと学校を見守っていただいている先生です。保健室内には養護教諭と、同性の職員もしくは女性職員が入室します。

子供たちのプライバシーを守り、かつ貴重な機会を逃さず検査ができるよう、検査の準備を進めています。事情があり脱衣が難しい場合や、検査への不安など心配なことがありましたら、養護教諭までご連絡ください。

災害共済給付制度 及び PTA 安全互助事業について

学校での不慮の事故やけがに備えて、日本スポーツ振興センターへ加入しています。登下校中や学校での事故について、災害給付金が申請できます。

また、家庭や地域でのけがについての補償は、PTA安全互助会に加入しています。詳しくはPTA総会資料をご覧ください。

けがをして病院にかかった場合は、学校にもお知らせください。

